

# 都留市 橋梁長寿命化修繕計画



令和5年3月

(計画期間：令和5年～令和14年)

都留市 産業建設部 建設課

## 目次

1. 管理橋梁の現状とこれまでの長寿命化対策	1
1) 背景	1
2) 目的	2
2. 長寿命化修繕計画の対象となる橋	3
1) 対象となる橋梁の選定方針	3
2) 対象となる橋梁の数	3
3) 対象となる橋梁の例	3
3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針	4
1) 健全度の把握に関する基本的な方針	4
2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針	4
4. 対象となる橋の長寿命化及び架替え・修繕に係る	
費用の縮減に関する基本的な方針	5
1) 架替え・修繕の違いについて	5
2) 橋梁の長寿命化及び架替え・修繕に係る	
費用の縮減に関する基本的な方針	6
3) 新技術の活用方針	7
4) 費用の縮減に関する具体的な方針	10
5. 対象となる橋梁の耐震補強に関する基本的な方針	12
6. 長寿命化修繕計画による実績	13
7. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期	
及び修繕内容・時期又は架替え時期	14
8. 長寿命化修繕計画による効果	19
9. 計画策定担当部署	19
10. 市民の皆様へのお願い	19

## 1. 管理橋梁の現状とこれまでの長寿命化対策

橋梁の耐用年数は、50年～60年とされている中、本市においても高度経済成長期に整備された橋梁が令和24年には半数以上が耐用年数を迎えます。また、少子高齢化等の社会情勢変化により今後、公共事業予算の大幅な増加が見込めないことから、アセットマネジメントの考えを基本に戦略的維持管理を行い、安全・安心な道路橋梁を持続的に供するため平成24年3月に『橋梁長寿命化修繕計画』を策定し、平成24年度より計画に沿った点検・修繕を進めてきたところであります。

平成24年12月に中央自動車道笹子トンネル天井板崩落事故が発生し、社会インフラの老朽化が確実に進んでいる現実に改めて警鐘が鳴らされ、定期点検と維持管理の重要性を再認識されることとなりました。

このような事故を受け道路法が改正され、橋梁をはじめトンネル、シェッド・大型カルバート、道路付属物等の点検の義務化が図られ、構造物の健全性を広く公表するとともに、道路管理者は、様々な対策を講じる必要性が再確認されたところであります。

この『橋梁長寿命化修繕計画』については、平成24年3月版に基づいた点検・補修の実績から、令和2年3月に一度改正しており、さらに今回、最新の点検結果・補修実績の反映や、新しい知見を踏まえ、計画の見直しを行うこととなりました。

### 1) 背景

都留市が管理する市道上の橋梁（以下、「市管理橋梁」という）は現在208橋あり、建設年次が判明している橋梁が86橋、不明の橋梁が122橋となります。建設年次が判明している橋梁のうち、1972年までに建設され、既に建設後50年以上を経過した橋梁は、20橋となりますが、20年後には、建設後50年以上経過する橋梁が過半数を占めることとなります。

橋梁の耐用年数は一般的に、50～60年といわれており、これらの老朽化した橋梁の維持管理費及び更新費が、今後増加することが予想されます。

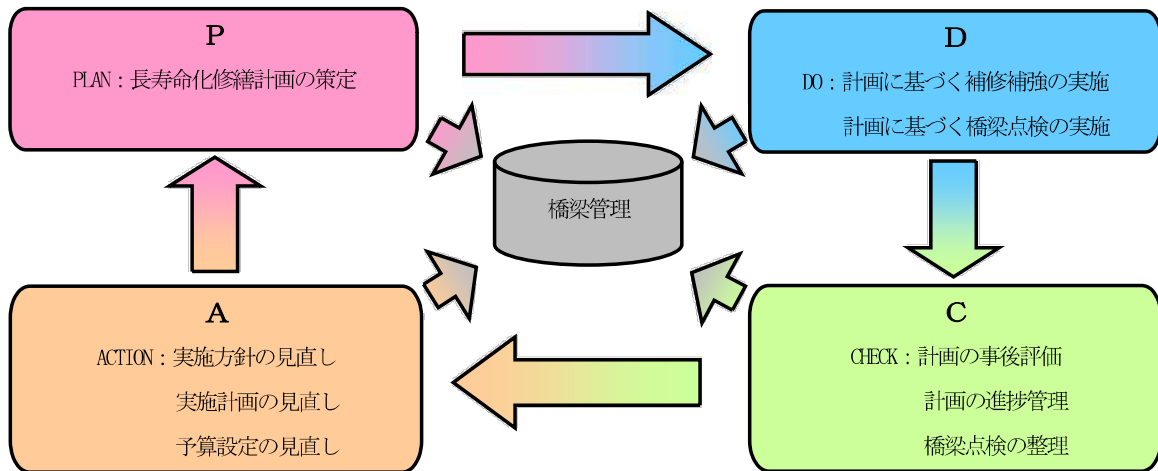


## 2) 目的

このような背景から、限られた予算の中でより効率的に橋梁を維持していく取り組みが必要となっています。

都留市では、アセットマネジメント手法<sup>※1</sup>の導入により、従来の対症療法型（事後保全型）<sup>※2</sup>から予防保全型（長寿命化型）<sup>※3</sup>へと管理手法を転換することにより、コストの縮減を図りながら、橋梁の健全性の低下を防止し、寿命を延ばすことで、安全性・信頼性を確保した道路サービスを恒久的に提供するために、橋梁の長寿命化修繕計画を策定することとしました。

以下に、今後の橋梁の管理方針をPDCAサイクルで示します。



### ※1…アセットマネジメント手法

道路橋を資産として捉え、その資産の状態を定量的に把握・評価して、中長期的な予測を行い、限られた予算制約の中で、求めるサービス水準を確保するために、いつどのような対策を行うのが最適であるかということを決定し実施していく総合的な管理手法。

### ※2…対症療法型（事後保全型）管理

損傷が甚大になってから、対症的に対策を実施する管理手法。

### ※3…予防保全型（長寿命化型）管理

損傷が軽微なうちに、予防的措置を含めて対策を実施する管理手法。橋梁の長寿命化が図れる。

## 2. 長寿命化修繕計画の対象となる橋梁

### 1) 対象となる橋梁の選定方針

計画の対象となる橋梁は、原則として都留市が管理している208橋全てとします。

### 2) 対象となる橋梁の数

計画の対象となる橋梁の数を、市道等級別に示します。

	市道1級	市道2級	市道その他	合計
管理している橋の数	23	19	166	208
うち計画の対象となる橋の数	23	19	166	208
	うちこれまでの計画策定済みの橋の数	23	19	166

### 3) 対象となる橋梁の例

計画の対象となる橋梁の例を、写真で示します。



城南橋



羽根子大橋



佐伯橋



新住吉橋



柄杓流橋



舟場橋

### 3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

#### 1) 健全度の把握に関する基本的な方針

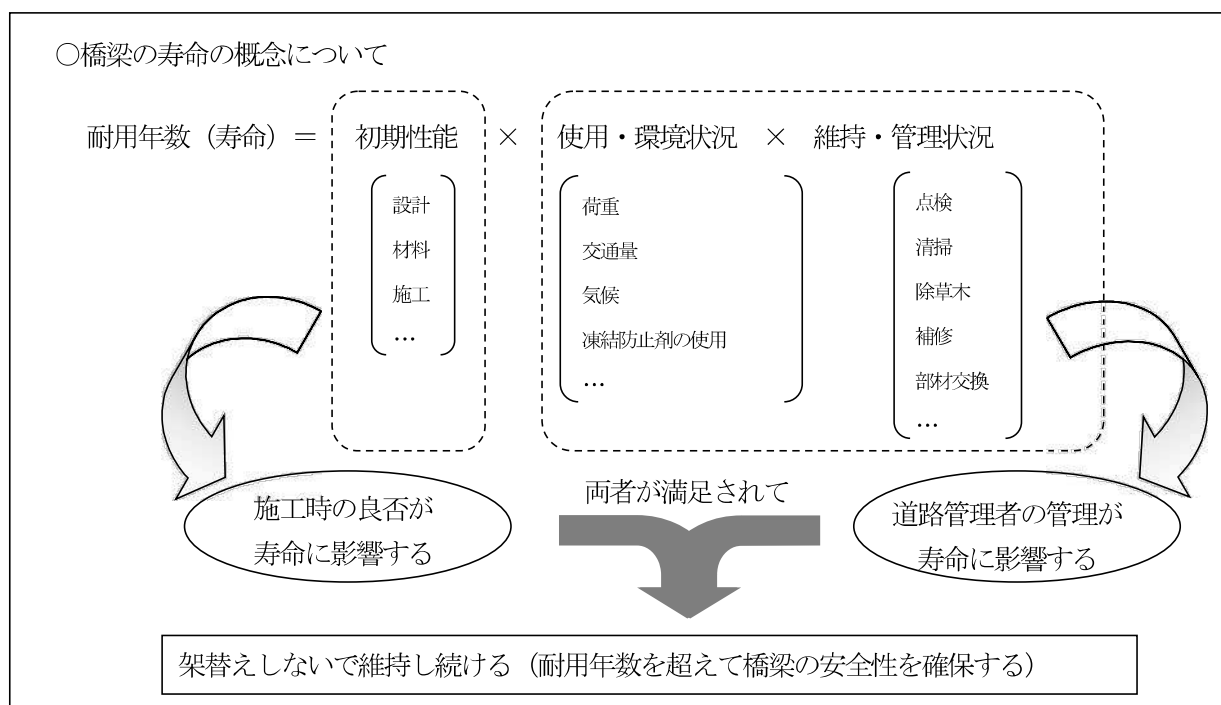
都留市では、平成26年度から平成30年度にかけて、市で管理している208橋全てについて点検を実施しました。今後も引き続き、市職員による簡易点検と専門家による詳細点検を定期的に行うこととします。

この定期的な点検の実施と、適切な維持管理・補修データの蓄積により、橋梁の長寿命化への取り組みを充実させていくこととします。



点検車による点検状況（川茂橋）

#### 2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針



橋梁の長寿命化とは、50年から60年という一般的な耐用年数（寿命）を超えても長期的に橋梁の安全性を確保しながら維持管理していくことです。橋梁の寿命には、「初期性能」、「使用・環境状況」及び「維持・管理状況」の3つの要素が相互に影響します。初期性能は建設当初で決まっていますが、残り2つの要素は維持管理の仕方によって寿命に大きな影響を与えます。

そこで、都留市においては以下に示す維持管理方針を定め、実施してまいります。

- ・ 日頃のメンテナンスを繰り返すことによって、劣化の進行速度を抑え、長期的な健全性の確保につなげることとします。
- ・ 具体的な重点対策として、橋梁の端部や排水ますなどに溜まった土砂の詰りを小まめに清掃等することとします。

#### 4. 対象となる橋梁の長寿命化及び架替え・修繕に係る費用の縮減に関する基本的な方針

##### 1) 架替え・修繕の違いについて

架替え・修繕は、架替え、補強、補修及び維持の4種類に大別できます。

##### ① 架替え

落橋の恐れがあるなどの構造上致命的な損傷がある場合、道路幅員を拓げるなどの利便性及び機能性を向上させたい場合、河川断面を拓げるなど防災対策が必要と判断された場合は、架替えが行われます。

##### ② 補強

主に耐震補強が該当します。橋梁に関する基準は、「道路橋示方書・同解説」を例にとると、平成24年度版が最新の基準となっています。したがって、過去の基準（特に昭和55年以前）で建設された橋梁は、現在想定されている最大級の地震発生時に通行不可となる可能性があるため、現行の基準に対応させることを目的に行われるのが補強です。

##### ③ 補修

橋梁に生じた損傷を直し、もとの機能に回復させることを目的とした措置をいいます。



##### ④ 維持

橋梁の機能を保持するため、日常計画的に行われる清掃などの措置をいいます。



2) 橋梁の長寿命化及び架替え・修繕に係る費用の縮減に関する基本的な方針

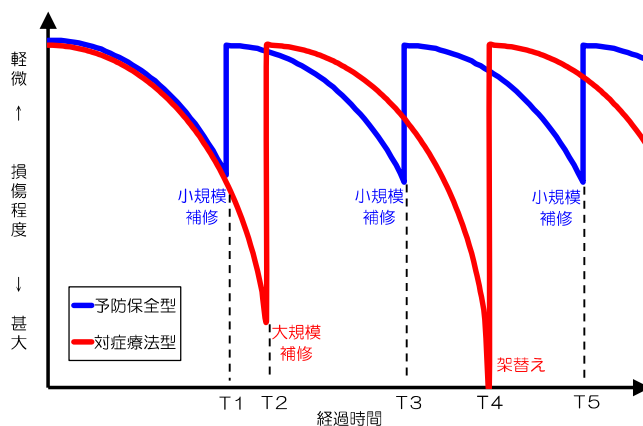
各々の橋梁に対し、以下に示す2つのシナリオで100年間のライフサイクルコスト<sup>※</sup>を算出し、比較検討した結果、より経済的であるシナリオを、その橋梁の最適シナリオとします。

① 予防保全型（長寿命化型）管理

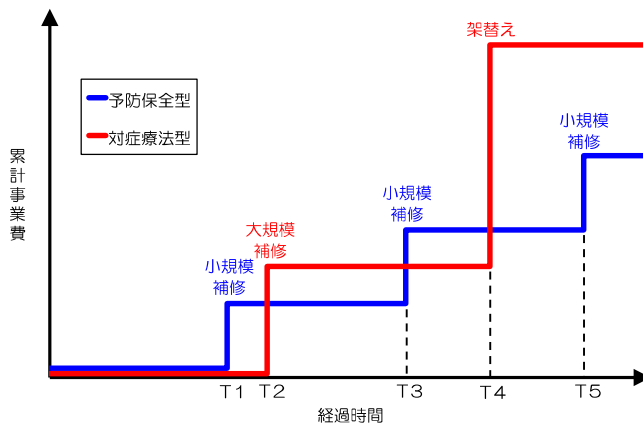
損傷程度が軽微なうちに、予防的措置を含めて対策を実施します。この場合、更新の時期に達しても架替えを行うような損傷は生じていないため、今後100年間は維持し続けます。

② 対症療法型（事後保全型）管理

損傷程度が甚大になってから、対症的に対策を実施します。この場合、更新の時期に達したら架替えを行います。架替え後についても、損傷が甚大になってから対症的に対策を実施します。



シナリオイメージ（損傷程度）



シナリオイメージ（累積事業費）

都留市では、上記のシナリオイメージからわかるように、橋梁の長寿命化と累積事業費の削減を図るため、予防保全型（長寿命型）管理を基本とし、最適シナリオが対症療法型となった場合は架替えを行う橋梁とし、予防保全型となった場合は原則として架替えは行わず維持管理していく方針とします。

※…ライフサイクルコスト：残存供用期間中に必要となるトータルコスト

### 3) 新技術等の活用方針

#### ①点検に係る新技術等の活用方針

橋梁の定期点検において、新技術等の活用によりコスト縮減や技術者の負担軽減を図ることを目的にしており、国土交通省では新技術等の活用促進を図る一助として「点検支援技術性能カタログ」を公表しています。例えば、令和8年4月版では、橋梁の点検技術としては画像計測が91技術、非破壊検査が48技術、計測・モニタリングが76技術の計215技術が紹介されています。

これらの点検支援技術は、定期点検により抽出された特定橋梁に対する補修事業を行う際の詳細調査に有効と考えられるものが殆どで、定期点検レベルに対しては高精度・高性能すぎて活用しにくいといった面があります。

また、点検ロボットやドローンなどについても、通常の近接目視点検レベルに対し、梯子や橋梁点検車もしくは高所作業車といった汎用的な手法では作業が困難な場合、もしくは活用することでコスト的に有利になる場合を除き、一般的には活用する機会は少ないことが想定されます。

従いまして、都留市では、点検支援新技術の活用は難しい状況にはあるものの、点検計画に基づく全ての橋梁の定期点検実施前には、必ず新技術等活用に係る検討を行い、活用が合理的であると判断した場合は、積極的に活用していくこととします。

ここで、都留市で実施した定期点検における新技術活用事例を一例紹介します。下の写真は、「車両設置幅 1.8mの道路施設点検車 (NETIS登録番号：HR-200003-A)」を活用した例です。活用対象となった橋梁は「大原橋歩道橋」・「御幸橋」で、有効幅員が 20mと狭隘なため、一般的な橋梁点検車の乗り入れが不可能でした。このことに対し、乗り入れ可能な点検車として、この「道路施設点検車」を採用し、点検を実施しました。



新技術活用事例 (車両設置幅 1.8mの道路施設点検車)

#### ②補修に係る新技術等の活用方針

標準的な補修工法 (ex.コンクリート橋：ひびわれ→樹脂注入、剥離・鉄筋露出→断面修復、鋼橋：腐食・防食機能の劣化→Rc-1 塗装系に塗替え) のメニューそのものは変わりませんが、品質がより優れ、かつ経済的にも有利な新技術の開発が進んでおり、既に適用実績が積み重ねられています。

国土交通省の新技術情報提供システム (NETIS) では、有用な新技術リストを公表しています。例えば、令和8年4月現在では、379技術が登録されており、これらの中で「橋梁補修補強」に分類されている新技術は41技術あります。

次ページの表はその41技術の中から、コンクリート部材が対象の断面修復、ひびわれ補修、表面含浸及びはく落防止の新技術を、鋼部材が対象の塗膜除去の新技術をさらに抽出しました。

有用な新技術一覧（ 令和8年4月 現在）(NETIS工種分類:「橋梁補修補強工」より抽出)

番号	登録番号	技術名称	技術概要(副題)	技術の位置づけ (有用な技術名称)	従来工法 (参考)	期待される効果(申請情報より抜粋)
27	OB-120013-VR	ハイブリッド形表面被覆材アロンブルコートZ-X、Z-Y工法	本工法は、工程短縮・品質向上・施工性にこだわって開発した材料(セメント系無機質硬化剤を主とし、アクリルゴムを混合)を用いる、コンクリート表面保護工法の新工法。	[活用促進]	エポキシ樹脂系表面被覆材を用いた剥落防止工法	<ul style="list-style-type: none"> <li>塩分や二酸化炭素、水の遮断性があるため、塩害、中性化、アルカリ骨材反応による劣化の進行抑制が期待できる。また、ひび割れ追従性が非常に優れているため、コンクリート構造物の耐久性向上も期待できる。</li> <li>施工の確実性と工期短縮が可能となった。</li> <li>塗装材料よりの臭気等が激減するため、周辺住民の施工時の社会環境を改善する。</li> </ul>
55	KT-130009-VR	シリケートガード	コンクリート表面の緻密化により劣化を抑制し耐摩耗性を向上させるけい酸塩系表面含浸材	[活用促進]	1液性のけい酸塩系表面含浸材	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工時に反応促進剤を混合する2液性のタイプに変えたことにより、反応性が向上し、1回の塗布回数で施工できるため、施工性が良くなり、工期の短縮、経済性の向上が図れる。</li> <li>施工時に反応促進剤を混合する2液性のタイプに変えたことにより、反応性が向上し、散水養生が不要となるため、施工性が良くなり、工期の短縮が図れる。</li> <li>施工時に反応促進剤を混合する2液性のタイプに変えたことにより、摩耗抑制率が向上し、コンクリートの耐摩耗性が向上するため、耐久性の向上が図れる。</li> </ul>
78	KT-150081-VR	EPP(エポ・ペイント・ピーリング)工法	水性塗膜剥離剤による塗膜の剥離工法	[活用促進]	プラスト工法	<ul style="list-style-type: none"> <li>塗膜除去に伴う粉塵が発生しないため、作業員の健康被害の心配がなく、安全性が向上する。</li> <li>塗膜除去作業は手作業主体で行えるため、作業時の騒音が小さく、周辺環境への影響が抑制される。</li> <li>塗膜は、粘土に近い状態で剥離されるため、回収が容易である。また、発生する産業廃棄物は、軽減され経済性は向上する。</li> </ul>
80	QS-150017-VR	コンクリート構造物の断面修復材料「ゴムラテリールズ」	プレミックス型超速硬ポリマーセメントモルタル・コンクリート	[活用促進]	超速硬コンクリート	<ul style="list-style-type: none"> <li>損傷程度に応じた材料の選択が現地で可能である。</li> <li>超速硬ポリマーセメントモルタルまたは超速硬ポリマーセメントコンクリートに変えたことにより、乾燥収縮が小さいため、ひび割れが発生しにくい。</li> <li>超速硬ポリマーセメントモルタルまたは超速硬ポリマーセメントコンクリートに変えたことにより、付着性能に優れるため、既設床版と強固な一体化を図ることができる。</li> <li>超速硬ポリマーセメントモルタルまたは超速硬ポリマーセメントコンクリートに変えたことにより、中性化・塩害等の劣化因子に対し、耐久性が期待できる。</li> <li>従来は、損傷が軽微であっても鉄筋下5cmまでのはつりが望ましいが、本技術は、モルタルの場合、損傷部ののみのはつりで施工でき、コンクリートの場合は、鉄筋下2cmのはつりで施工可能である。</li> </ul>
81	QS-150032-VE	循環式ハイブリッドプラストシステム	研削材の再利用および設備の車載対応が可能なプラスト工法	[活用促進]	エアープラスト(加圧式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>研削材の循環式機能を付加したことにより、産業廃棄物の排出量を低減できるため、経済性の向上および環境負荷低減が期待できる。</li> <li>スチールグリッドの採用により粉塵の発生を抑制できるため、作業環境が向上する。</li> <li>大型機から小型機まで揃えたことにより、施工条件や現場条件に応じて機種を選定できるため、施工性の向上が期待できる。</li> <li>車載型プラスト機の場合、移動性に優れるため、設置スペースに制約がある現場や点在する現場に有効である。</li> <li>筒先のボタン操作のみで制御できるため、操作に係る労務コストを縮減できる。</li> </ul>
84	KT-120082-VR	ワンステップガード工法	短繊維混合樹脂によるコンクリート片はく落防止対策工法	[活用促進]	繊維シート接着工法	<ul style="list-style-type: none"> <li>特殊有機短繊維を混合したアクリル樹脂に変えたことにより、シート接着工程が削減ができるので、工程の短縮、経済性の向上が図れる。</li> <li>特殊有機短繊維を混合したアクリル樹脂に変えたことにより、従来の樹脂と比べて環境ホルモンの含有量が少ないので、周辺環境への影響抑制が図れる。</li> </ul>
86	SK-140006-VR	コンクリート剥落防止対策ネット工法	メッシュシート(スマートメッシュ)によるコンクリート片の剥落防止対策工法	[活用促進]	はつり工+断面修復工法	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済性:アンカー固定による簡単施工と安価な材料の使用により、従来工法に比べ工程短縮が図られ、また経済性の向上が図れます。</li> <li>施工性:アンカー固定による迅速な施工が可能で、緊急対応や夜間工事などに最適です。ネットの加工はハサミで切断することが可能です。</li> <li>耐久性:メッシュ部は高強度ビニロン製を耐久性に富むPVC(塩ビ系合成樹脂)でコーティングし、促進曝露試験では10年以上に相当する耐久性を維持することを確認しています。</li> <li>はく落防止性能(載荷試験)橋梁剥落対策(新型ビニロンネット工法)施工管理要領(案)NEXCO西日本 四国支社において定められている載荷試験により、荷重1.2KN以上を確保することを確認しています。</li> <li>安全性:延焼性試験(NEXCO試験法738-2011)、ガス有害性試験等で良好な結果が得られ、安全な材料である。</li> <li>維持管理(メンテナンス等)アンカー固定であるため、撤去や設置が容易。</li> <li>施工後の躯体の損傷確認メッシュシートであるためコンクリート躯体のひび割れ等の損傷状況を確認できる。</li> <li>均一な品質:メッシュシートは工場で製造されるため、均一な品質であり、仕上げにムラがない。</li> <li>美観:メッシュシートやプレートの色は、コンクリートに近いグレー色であり、違和感が少ない。</li> </ul>
89	CG-120025-VR	超薄膜スケルトンはく落防災コーティング	透明特殊コーティング材とガラス連続繊維シートの含浸接着による、透けて見えるコンクリート構造物のはく落防止機能(繊維シートを使用しない場合は小片はく落防止機能付き表面保護工法)	[活用促進]	ビニロン繊維シート工法	<ul style="list-style-type: none"> <li>透明化できたことにより、コンクリート表面に異常が生じて目視で確認できる。</li> <li>工期の短縮と簡易な施工性。</li> <li>細部の施工が可能。</li> </ul>
187	KT-120057-VE	ショーボンドCAP工法	ひび割れの表面に塗布するだけで、内部に浸透し接着するひび割れ補修工法	[活用促進]	注入器具によるひび割れ注入工法	<ul style="list-style-type: none"> <li>浸透性の高いものに変えたことにより、注入作業はひび割れ表面への塗布となりシール材が不要となるため、材料費が低減され経済性の向上が図られる。</li> <li>浸透性の高いものに変えたことにより、注入作業はひび割れ表面への塗布となりシール材の設置撤去工程が不要となるため、工程の短縮が図られる。</li> <li>浸透性の高いものに変えたことにより、補修作業はローラーによる接着剤の塗布作業のみになるため、施工性の向上が図られる。</li> <li>浸透性の高いものに変えたことにより、注入作業はひび割れ表面への塗布となりシール材が不要となるため、シール材撤去に伴う粉塵発生が無く、また、撤去後のシール材廃棄が無いため、周辺環境抑制が図られる。</li> </ul>

### ③ 新技術等の活用方針とその目標

都留市における新技術等の活用方針とその目標は、以下の通りとします。

#### 【活用方針】

都留市は、補修工事等の事業に対し、高品質で経済的に有用な補修工法の新技術等を活用していく方針とし、新技術を積極的に促していくこととします。

また、点検計画に基づく全ての橋梁の定期点検実施前には、必ず新技術等活用に係る検討を行い、活用が合理的であると判断した場合は、積極的に活用していくこととします。

#### 【活用目標】

計画期間（10 年間）中に実施される補修事業及び定期点検においては、1 割以上の橋でコスト縮減等の効果を有する新技術等の活用を目指し、1 件当たりのコスト縮減率 7%（概ね 290 万円）縮減することを目標とします。



活用が期待される新技術の例（写真左：点検ロボット 写真右：ドローン）

#### 4) 費用の縮減に関する具体的な方針

##### ① 橋梁の集約化・撤去、機能縮小などによる費用の縮減に関する方針

橋梁の老朽化は進行し続けています。一方で、土地利用状況の変化や周辺人口の減少、道路網の整備等により、建設当時と比べ利用者が著しく減少している橋梁もあります。

都留市の橋梁の中にも、こうした実情により、そのまま橋梁を長期的に維持し続けるのではなく、撤去や集約化及び機能縮小などを行うことで、一時的な費用負担が生じたとしても、その後の維持管理・更新費用が大幅に少なくなり、トータルコスト的には費用の縮減を図ることが可能となる橋梁も存在するものと思われます。

この考え方についての概要をまとめると以下の通りとなります。

##### <参考：集約・撤去の考え方>

老朽化等により現橋の継続利用が困難な場合において、今後も同等以上の機能が必要な橋梁は「架替」を実施し、周辺環境の変化等により役割を終えている橋梁は「単純撤去」を実施することが考えられる。

一方、それらの中間として、同じ機能で作り直すほどではないが何らかの機能の保持が求められる橋梁は、「迂回路の機能を充実させる（撤去＋迂回路整備）」、「機能を低下させる（ダウンサイジング）」、「架替橋梁を集約する（複数橋梁の集約）」等も選択肢となることが考えられる。

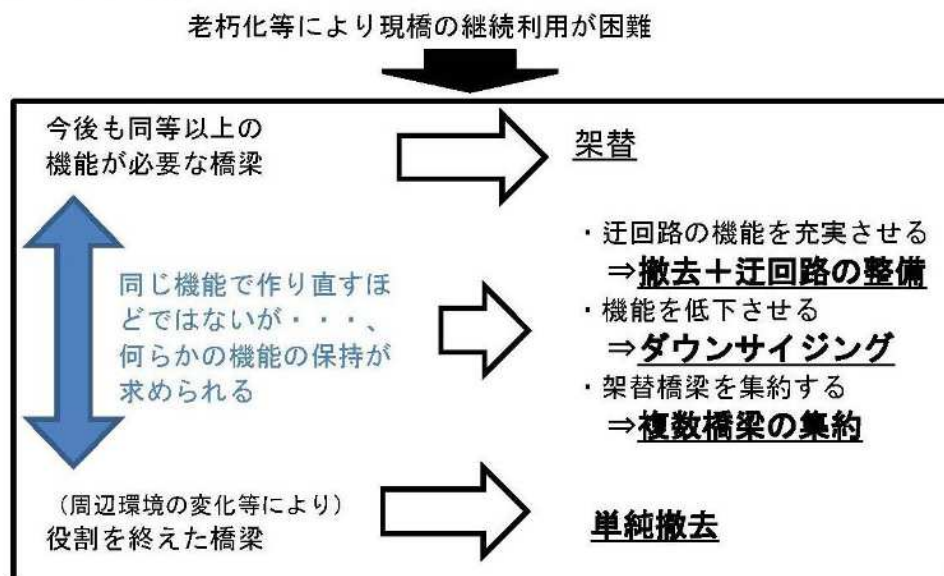


図 2-9 集約・撤去の考え方

(出典：「道路橋の集約・撤去事例集 令和4年3月 国土交通省道路局」P9)

基本的に集約・撤去等の対象候補となる橋梁の要件としては、橋梁の老朽化が進んでいること（特に健全性の判定区分Ⅳの場合）となります。

都留市の場合、管理している橋梁で健全性の判定区分Ⅳと診断された、最も健全性の低い橋梁は確認されませんでした。しかしながら、判定区分Ⅲと診断された橋梁が11橋確認されました。喫緊に「継続維持」か「集約・撤去」かの選択を迫られている橋梁は1橋もありません。

ただし、損傷状況や利用実態等を考慮し、利用者・住民との合意形成を図る準備（合意形成期間の確保）を行い、地域の合意が得られた橋梁に対しては「集約・撤去」により費用を縮減する方針とします。

住吉橋は上流側に新住吉橋が隣接し、耐震補強及び上部工の拡幅により歩道の増設が計画されたことにより、「複数橋梁の集約」の候補として、撤去が行われています。この計画により、概ね6400万円（50年間）の費用縮減効果が見込まれています。この他に、管理橋梁全てを対象に検討を重ねた結果、利用者が限られている、上戸沢朝日1号橋が将来的な「単純撤去」の候補となりました。上戸沢朝日1号橋を選定した場合、今後は定期点検のみ実施する計画へと変更となるため、計画期間中の維持修繕費（概ね1,800万円）が不要となり、費用縮減効果が見込まれます。



住吉橋（健全度Ⅲ）



上戸沢朝日1号橋（健全度Ⅲ）

なお、他の市管理橋梁についても、老朽化の進展や利用者が著しく減少した橋梁については、対象候補として、長寿命化修繕計画の更新ごとに検討を繰り返すこととします。

#### ②短期的な数値目標

計画期間（10年間）中に、2橋の集約化・撤去を検討し、今後の維持管理コストを年度予算額の一割（概ね1,500万円）縮減することを目標とします。

## 5. 対象となる橋梁の耐震補強に関する基本的な方針

橋長 15m以上、落橋時の復旧、近接橋梁の有無などの耐震補強必要性を評価した結果、以下に示す 23 橋について耐震補強を実施する計画とします。

計画の対象となる橋梁を長寿命化型管理により寿命を延ばす（今後 100 年間維持し続ける）ということは、必然的に供用期間中に「南海トラフ」をはじめとする大規模地震の影響を受ける可能性が非常に高くなるということを意味します。

耐震補強を実施する橋梁

優先順位	橋梁番号	橋梁名称	優先順位	橋梁番号	橋梁名称
1	1240	佐伯橋	23	2260	羽根子大橋
2	2090	城山大橋	27	2100	新石運橋
3	1200	新住吉橋	29	0740	大群橋
4	1810	大輪橋	30	2110	岩崎橋
5	2130	沢戸橋	34	1550	大野橋
8	0480	本沢1号橋	34	2000	玉川公園橋
8	1740	細野橋	40	0950	平栗橋
11	0730	中村橋	42	2160	古川渡橋
22	2140	柄杓流橋	42	2240	楽山二の橋
23	0160	大原橋	45	1290	桂橋
23	2170	禾生橋	46	1830	梨木橋
23	2230	楽山一の橋			

■完了

山梨県内で想定される地震一覧表

想定される地震	今後30年以内の発生確率	都留市への影響
東海地震	88%	大
南関東直下プレート境界地震 (現在は首都直下型地震*)	70%	中
釜無川断層地震	不詳	中
藤の木愛川断層地震	不詳	甚大
曾根丘陵断層地震	不詳	小
糸魚川-静岡構造線地震	14%	小



想定地震の震源域

6. 橋梁長寿命化修繕計画による実績  
計画に基づく現在までの対策実績を示します。

計画年度	橋梁名	内容	橋の数
平成24年度	(工事に必要な設計のみ)		0 橋
平成25年度	佐伯橋	補強工事	1 橋
平成26年度	佐伯橋	補強工事	3 橋
	大原橋	耐震補強	
	弁天横橋2号		
平成27年度	佐伯橋	補強工事	1 橋
平成28年度	源生橋	床版取替工	1 橋
平成29年度	(工事に必要な設計のみ)		0 橋
平成30年度	(工事に必要な設計のみ)		0 橋
平成31年度 (令和元年度)	城南橋	支承取替工	4 橋
	弁天横橋2号	床版補修工	
	大原橋	耐震補強	
	新住吉橋	更新工事	
令和2年度	上戸沢朝日1号橋	床版取替工	2 橋
	新住吉橋	更新工事	
令和3年度	新住吉橋	更新工事	2 橋
	船場橋	床版補修工	
令和4年度	住吉橋	撤 去	4 橋
	足田川橋	橋脚補修工	
	権源原橋	支承取替工	
	札金橋3号	支承取替工	
令和5年度	寿橋	床版補修工	3 橋
	玉川公園橋	表面含浸工	
	札金橋3号	支承取替工	
令和6年度	高川橋	支承補修工	3 橋
	熊井戸橋	支承補修工	
	中小野3号橋	支承取替工	
令和7年度	丹保第2号橋	支承補修工	3 橋
	駅前橋	断面修復工	
	牛石橋	耐震補強	

7. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

計画期間（今後10年間：令和5年度から令和14年度）の修繕（補強、補修及び維持）予定の橋梁の概要は、以下の通りです。

また、次ページ以降に、対象橋梁を優先順位順に並べた、橋梁ごとの計画期間（今後10年間：令和5年度から令和14年度）における次回点検時期及び修繕内容（補強、補修及び維持）・時期の予定を示します。

今後10年間の修繕予定		
計画年度	主な橋梁	橋の数
令和5年度	補修工事	3 橋
令和6年度	補修工事	3 橋
令和7年度	補修工事及び補強工事	2 橋
令和8年度	補強工事	1 橋
令和9年度	補修工事	0 橋
令和10年度	補修工事及び補強工事	7 橋
令和11年度	補修工事及び補強工事	9 橋
令和12年度	補強工事	13 橋
令和13年度	補強工事	1 橋
令和14年度	補修工事	0 橋

社会情勢の変化などにより変更される場合があります。

橋梁ごとの計画期間（今後10年間：令和5年度から令和14年度）における定期点検及び修繕等の予定

番号	橋梁名称	路線名	架設年度	橋長(m)	幅員(m)	橋梁形式	所在地	定期点検結果		R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	主な補修内容
								年度	健全性の診断区分	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)	(2027)	(2028)	(2029)	(2030)	(2031)	(2032)	
1	岩下橋	大野橋岩下線	1981	27.5	3.0	鋼橋	鹿留	R5	Ⅱ	定期点検					定期点検					
2	沖橋	大野橋岩下線	1970	4.8	3.6	R C橋	鹿留	R5	Ⅰ	定期点検					定期点検					
3	菅野小橋	菅野日影線	1965	2.6	3.0	R C橋	大野	R6	Ⅰ		定期点検					定期点検				
4	沖2号橋	沖線	1984	4.3	3.4	R C橋	鹿留	R7	Ⅰ			定期点検							定期点検	
5	細野1号橋	細野線	1965	2.9	4.5	R C橋	大野	R7	Ⅰ			定期点検							定期点検	
6	大野橋	大野橋岩下線	1967	46.5	3.1	鋼橋	鹿留	R5	Ⅱ	定期点検					定期点検	補強設計 34,000	補強工事 73,000			耐震補強
7	大沢一番橋	大沢線	1979	13.5	3.0	鋼橋	鹿留	R5	Ⅰ	定期点検					定期点検					
8	菅野大橋	菅野日影線	1987	13.5	4.0	R C橋	大野	R5	Ⅰ	定期点検					定期点検					
9	大沢2号橋	大沢線	1970	5.8	5.8	R C橋	鹿留	R4	Ⅱ					定期点検					定期点検	
10	桂ニュータウン6号橋	桂ニュータウン環状線支線3号	1985	6.8	7.0	R C橋	境	R5	Ⅰ	定期点検					定期点検					
11	細野橋	細野線	1993	15.2	5.0	P C橋	大野	R5	Ⅰ	定期点検					定期点検	補強設計 13,000	補強工事 28,000			耐震補強
12	桂ニュータウン3号橋	桂ニュータウン環状線	1985	7.0	6.0	R C橋	境	R5	Ⅰ	定期点検					定期点検					
13	足田川橋	桂町門原線	1968	42.0	2.5	鋼橋	鹿留	R4	Ⅲ					定期点検					定期点検	橋脚補修工 (待機完了済)
14	桂ニュータウン8号橋	桂ニュータウン環状線支線5号	1985	8.0	4.6	R C橋	境	R5	Ⅰ	定期点検					定期点検					
15	桂ニュータウン2号橋	桂ニュータウン環状線	1985	2.8	8.0	R C橋	境	R7	Ⅰ			定期点検							定期点検	
16	桂ニュータウン5号橋	桂ニュータウン環状線支線2号	1985	3.8	5.9	R C橋	境	R7	Ⅰ			定期点検							定期点検	
17	桂ニュータウン9号橋	桂ニュータウン環状線支線6号	1985	7.0	7.0	R C橋	境	R5	Ⅰ	定期点検					定期点検					
18	桂ニュータウン7号橋	桂ニュータウン環状線支線4号	1985	5.5	7.0	R C橋	境	R5	Ⅰ	定期点検					定期点検					
19	桂ニュータウン4号橋	桂ニュータウン環状線	1985	6.7	4.0	R C橋	境	R5	Ⅰ	定期点検					定期点検					
20	桂ニュータウン1号橋	桂ニュータウン環状線	1985	5.6	6.8	R C橋	境	R5	Ⅰ	定期点検					定期点検					
21	堀尻橋	宮下倉見線	1975	5.4	4.5	P C橋	境	R4	Ⅱ					定期点検					定期点検	
22	堀尻2号橋	境倉見裏通り線	1975	2.4	5.2	R C橋	境	R7	Ⅰ			定期点検							定期点検	
23	大堀橋	宮下倉見線	1975	3.1	4.9	R C橋	境	R7	Ⅱ			定期点検							定期点検	
24	大堀3号橋	境倉見裏通り線	1975	3.7	8.0	R C橋	境	R7	Ⅰ			定期点検							定期点検	
25	大堀2号橋	宮下倉見線	1975	2.9	5.3	R C橋	境	R7	Ⅱ			定期点検							定期点検	
26	境2号橋	境倉見裏通り線支線1号	2024	2.5	3.4	C-BOX	境	R7	Ⅰ			定期点検							定期点検	
27	境橋	宮下倉見線支線2号	2007	28.0	5.5	鋼橋	境	R4	Ⅰ					定期点検					定期点検	支架取替工
28	中小野3号橋	上小野線	1970	8.4	3.5	鋼橋	小野	R4	Ⅲ			補修工事 28,000			定期点検				定期点検	
29	宮下4号橋	宮下倉見線	1965	3.6	5.4	R C橋	鹿留	R7	Ⅱ			定期点検							定期点検	
30	宮下3号橋	鹿留発電所北線	1965	4.3	2.9	R C橋	鹿留	R7	Ⅰ			定期点検							定期点検	
31	道地2号橋	宮下倉見線	1965	6.6	5.3	鋼橋	境	R4	Ⅱ					定期点検					定期点検	
32	道地橋	宮下倉見線	1970	6.4	6.2	R C橋	鹿留	R4	Ⅰ					定期点検					定期点検	
33	沢田橋	八幡橋大津線	1969	12.0	4.0	P C橋	大野	R4	Ⅱ					定期点検					定期点検	
34	中小野2号橋	元坂小野線	1970	4.9	4.7	R C橋	小野	R4	Ⅰ					定期点検					定期点検	
35	古渡橋	桂町門原線	2002	24.5	7.0	P C橋	鹿留	R4	Ⅰ					定期点検					定期点検	
36	中小野橋	八幡橋大津線支線1号	1970	4.1	5.5	R C橋	小野	R7	Ⅰ			定期点検							定期点検	
37	飛石橋	八幡橋大津線	1960	6.0	4.0	R C橋	小野	R4	Ⅰ					定期点検					定期点検	
38	宝境寺橋	湯ノ沢夏狩線	1965	3.1	3.9	鋼橋	桂町	R7	Ⅱ			定期点検			補強設計 3,900	補強工事 300			定期点検	橋脚の工
39	権源原橋	元坂小野線	1970	10.4	3.5	鋼橋	小野	R4	Ⅲ					定期点検					定期点検	支架取替工 (待機完了済)
40	八幡上橋	八幡橋大津線	1970	2.7	4.5	R C橋	小野	R7	Ⅱ			定期点検							定期点検	
41	宮下2号橋	桂町東線	1965	2.8	4.7	R C橋	桂町	R7	Ⅰ			定期点検							定期点検	
42	桂2号橋	桂町門原線	1965	7.2	4.4	R C橋	桂町	R4	Ⅱ					定期点検					定期点検	
43	薬山二の橋	薬山線	1994	18.0	9.3	鋼橋	上谷	R5	Ⅰ	定期点検					定期点検	補強設計 10,000	補強工事 8,400			耐震補強
44	薬山一の橋	薬山線	1994	51.0	9.3	鋼橋	上谷	R5	Ⅰ	定期点検					定期点検	補強設計 10,000	補強工事 5,600			耐震補強
45	寺橋	寺橋通り線	1984	27.6	4.0	鋼橋	小野	R5	Ⅰ	定期点検					定期点検					
46	都留ゴルフ場橋	法能山線	1970	6.6	4.0	P C橋	法能	R4	Ⅰ					定期点検					定期点検	
47	桂橋	桂町門原線	1989	28.0	4.0	鋼橋	桂町	R4	Ⅱ					定期点検	補強設計 13,000	補強工事 2,800			定期点検	耐震補強
48	湯ノ沢橋	湯ノ沢線	1970	15.8	2.7	鋼橋	夏狩	R4	Ⅱ					定期点検					定期点検	
49	桂3号橋	東桂駅夏狩橋	1965	2.1	4.1	R C橋	桂町	R7	Ⅰ			定期点検							定期点検	
50	無名12橋	側道古川渡東桂線	1994	7.2	6.0	C-BOX	夏狩	R7	Ⅰ			定期点検							定期点検	

橋梁ごとの計画期間（今後10年間：令和5年度から令和14年度）における定期点検及び修繕等の予定

番号	橋梁名称	路線名	架設年度	橋長(m)	幅員(m)	橋梁形式	所在地	定期点検結果		R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	主な修繕内容	
								年度	健全性の診断区分	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)	(2027)	(2028)	(2029)	(2030)	(2031)	(2032)		
										26,780	153,400	388,200	17,000	14,000	231,200	787,200	628,300	26,800	14,000		
51	無名5橋	大学周辺通り線支線11号	1985	5.3	4.1	R-C橋	田原三丁目	R5	I	定期点検					定期点検						
52	無名4橋	大学周辺通り線支線11号	1985	3.5	4.0	R-C橋	田原三丁目	R7	II		定期点検					定期点検					
53	無名11橋	側道古川渡東桂線	1994	2.6	6.0	C-BOX	夏狩	R7	I		定期点検					定期点検					
54	水道橋3号	堂子線	1975	3.5	4.9	R-C橋	田原四丁目	R7	I		定期点検					定期点検					
55	滝下橋	堂子線	1970	3.0	4.7	C-BOX	田原四丁目	R7	II		定期点検					定期点検					
56	佐伯橋	佐伯橋線	1927	45.0	5.6	鋼橋	田原四丁目	R4	I				定期点検							定期点検	
57	細工場橋	根田入線	1970	8.8	3.0	P-C橋	田原四丁目	R7	I		定期点検					定期点検					
58	水道橋2号	大学周辺通り線	1975	6.4	7.6	R-C橋	田原四丁目	R4	I				定期点検							定期点検	
59	寺川橋	天神通り線	1965	3.2	11.5	R-C橋	田原二丁目	R4	II				定期点検							定期点検	
60	水道橋	大学周辺通り線	1975	3.6	15.1	C-BOX	田原三丁目 田原四丁目	R7	I		定期点検						定期点検				
61	栗山橋	天神通り線	1966	8.6	11.2	R-C橋	田原二丁目	R4	II				定期点検	補修設計 5,000	補修工事 59,000					定期点検	支那修繕工
62	田原橋4号	都留文科大学駅前 通り線支線3号	1970	4.2	10.0	C-BOX	田原二丁目	R6	I		定期点検					定期点検					
63	田原橋3号	都留文科大学駅前 通り線支線3号	1970	3.9	12.0	C-BOX	田原二丁目	R6	I		定期点検					定期点検					
64	橋杓流2号橋	十日市場夏狩線支線9号	1970	2.0	9.1	R-C橋	十日市場	R7	I		定期点検					定期点検					支那修繕工
65	熊井戸橋	熊井戸線	1967	32.0	3.7	鋼橋	小野	R5	III	補修設計 8,580 定期点検	補修工事 38,000				定期点検						
66	田原橋2号	都留文科大学駅前 通り線	1970	3.9	7.7	C-BOX	田原二丁目	R6	I		定期点検					定期点検					
67	新住吉橋	法能宮原線	1975	66.7	6.5	鋼橋	小野	R4	I				定期点検							定期点検	
68	田原橋	谷村高校西側線	1973	4.8	8.0	P-C橋	上谷五丁目	R4	II				定期点検							定期点検	
69	三ノ側橋	上町滝下線支線3号	1970	3.5	6.6	R-C橋	上谷五丁目	R7	I		定期点検						定期点検				
70	橋杓流橋	側道古川渡東桂線	1994	70.0	8.8	鋼橋	十日市場	R4	II				定期点検	補修設計 15,000	補修工事 74,000					定期点検	耐震補強
71	引の田東橋	引ノ田東線	1980	2.7	3.4	R-C橋	法能	R7	I		定期点検						定期点検				
72	聖川2号橋	法能東側線支線1号	1995	8.0	6.0	P-C橋	法能	R5	I	定期点検					定期点検						
73	六斗地橋	法能引ノ田線	1963	8.1	6.4	R-C橋	法能	R4	II				定期点検							定期点検	
74	聖川3号橋	法能宮原線支線21号	1995	9.5	4.7	P-C橋	法能	R5	II	定期点検					定期点検						
75	上町家中橋	上谷家中川通り線 支線0号	1970	3.2	7.5	C-BOX	上谷四丁目	R7	I		定期点検					定期点検					
76	上町家中2号橋	家谷屋中川通り線	1970	2.3	5.8	C-BOX	上谷四丁目	R7	I		定期点検					定期点検					
77	上町家中3号橋	上谷家中川通り線 支線4号	1970	3.1	8.6	C-BOX	上谷四丁目	R6	I		定期点検					定期点検					
78	堀口橋	法能宮原線	1970	6.7	5.6	C-BOX	法能	R7	I		定期点検					定期点検					
79	家中橋	家谷屋中川通り線	1970	5.8	8.3	C-BOX	上谷四丁目	R7	I		定期点検					定期点検					
80	上戸沢橋	上戸沢朝日線	1990	14.7	5.0	鋼橋	戸沢	R5	I	定期点検					定期点検						
81	落水橋	上谷家中川通り線 支線1号	1970	3.2	5.0	C-BOX	上谷一丁目	R7	I		定期点検					定期点検					
82	聖川橋	法能宮原線支線18号	1970	8.0	3.1	鋼橋	法能	R7	II		定期点検					定期点検					
83	上戸沢朝日1号橋	上戸沢朝日線	1975	12.0	1.8	木橋	戸沢	R7	I		定期点検					定期点検					取替 (設置完了)
84	早馬橋	市役所橋十一層線	1970	3.2	4.0	C-BOX	上谷一丁目	R7	I		定期点検					定期点検					
85	城南橋	城山厚原線	1960	34.2	3.5	鋼橋	上谷一丁目	R4	I				定期点検							定期点検	
86	河口橋	市役所橋十一層線 支線1号	1970	3.2	3.0	C-BOX	上谷一丁目	R7	I		定期点検					定期点検					
87	河口2号橋	市役所橋十一層線	1970	3.2	8.0	C-BOX	上谷一丁目	R7	I		定期点検					定期点検					
88	本沢2号橋	本沢線	1975	7.6	3.3	鋼橋	朝日曾越	R7	II		定期点検					定期点検					
89	前田橋	玉川中線支線3号	2005	17.5	5.0	P-C橋	玉川	R3	I			定期点検								定期点検	
90	源生橋	下谷家中川通り線	1970	3.8	1.5	鋼橋	中央一丁目	R6	I		定期点検					定期点検					
91	けだし橋	玉川中線	2007	17.5	4.0	P-C橋	戸沢	R3	I			定期点検								定期点検	
92	石橋	栄町四日市場線	1970	3.2	3.3	R-C橋	中央一丁目	R6	I		定期点検					定期点検					
93	富士見橋丁橋	下谷家中川通り線 支線1号	1970	2.0	3.0	R-C橋	中央一丁目	R6	I		定期点検					定期点検					
94	玉川公園橋	中野橋玉川線	1985	31.1	4.5	鋼橋	玉川	R5	I	定期点検					定期点検	補強設計 26,000	補強工事 60,000				耐震補強
95	駅前橋	大園屋橋通り線	1960	3.6	11.2	R-C橋	中央一丁目	R4	III	補修設計 3,800	補修工事 4,200		定期点検			定期点検				定期点検	積込工
96	中村橋	横畑加畑下大橋線	1965	11.3	4.0	R-C橋	平栗	R4	I				定期点検	補強設計 14,000	補強工事 31,000					定期点検	耐震補強
97	本沢1号橋	本沢線	1980	21.5	4.0	鋼橋	朝日曾越	R3	II				定期点検	補強設計 14,000	補強工事 8,000					定期点検	耐震補強
98	厚原橋	城山厚原線	1970	2.2	4.6	R-C橋	厚原	R6	I		定期点検					定期点検					
99	城山大橋	側道古川渡東桂線	1990	94.0	7.0	鋼橋	川棚	R4	II				定期点検	補強設計 42,000	補強工事 72,000	補強工事 72,000				定期点検	耐震補強
100	火葬場橋	火葬場入口線	2014	5.7	4.3	R-C橋	下谷	R5	I	定期点検					定期点検						

橋梁ごとの計画期間（今後10年間：令和5年度から令和14年度）における定期点検及び修繕等の予定

番号	橋梁名称	路線名	架設年度	橋長(m)	幅員(m)	橋梁形式	所在地	定期点検結果		R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	主な 補修内容
								年度	健全性の 診断区分	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)	(2027)	(2028)	(2029)	(2030)	(2031)	(2032)	
										26,780	153,400	388,200	17,000	14,000	231,200	787,200	628,300	26,800	14,000	
101	井天橋	寺前深田線支線3号	1970	3.8	3.8	RC橋	つる二丁目	R6	I		定期点検					定期点検				
102	寿橋	栄町長者町線支線1号	1970	3.4	4.8	RC橋	つる三丁目	R6	I		定期点検					定期点検				
103	井天橋2号	寺前深田線支線4号	1970	2.8	12.7	RC橋	つる二丁目	R6	I		定期点検					定期点検				
104	平栗橋	横畑加畑下大幡線	1983	15.5	6.0	PC橋	平栗	R3	II			定期点検					補強設計 14,000	補強工事 9,800	定期点検	耐震補強
105	無名6橋	寺前深田線	1985	4.9	6.5	RC橋	つる二丁目	R5	I	定期点検					定期点検					
106	深田下橋	深田環状線支線1号	1970	4.9	4.0	PC橋	下谷一丁目	R3	I			定期点検						定期点検		
107	深田3号橋	深田環状線	1981	5.1	7.4	RC橋	下谷一丁目	R5	I	定期点検					定期点検					
108	梨木橋	宮の前梨木線	1981	22.2	4.0	鋼橋	朝日馬場	R5	I	定期点検					定期点検	補強設計 14,000	補強工事 5,000			耐震補強
109	鈴山3号橋	蛇ノ宮線	1975	2.4	4.6	RC橋	朝日馬場	R6	I		定期点検					定期点検				
110	鈴山2号橋	蛇ノ宮線	1975	2.4	4.6	RC橋	朝日馬場	R6	I		定期点検					定期点検				
111	道生橋1号	道生昭徳重線	1970	2.4	10.0	C-BOX	つる一丁目 つる四丁目	R6	I		定期点検					定期点検				
112	深田2号橋	深田瀬中線	1970	4.4	4.8	C-BOX	下谷二丁目	R6	I		定期点検					定期点検				
113	道生橋2号	道生昭徳重線	1970	3.3	8.7	RC橋	つる一丁目	R6	I		定期点検					定期点検				
114	久保橋	横畑加畑下大幡線	1968	23.0	2.5	鋼橋	大幡	R3	II			定期点検		補修設計 9,000	補修工事 15,000			定期点検		耐震修復工
115	上手1号橋	上手環状線支線1号	1975	7.5	4.1	RC橋	与繩	R4	I				定期点検						定期点検	
116	徳重橋	道生昭徳ノ果線	1970	3.0	4.2	RC橋	つる四丁目	R6	I		定期点検					定期点検				
117	大群橋	横畑加畑下大幡線	1986	48.8	8.3	鋼橋	中津森	R4	II				定期点検	補強設計 32,000	補強工事 100,000				定期点検	耐震補強
118	クロキナメイフ橋	新明町徳重線支線1号	1970	3.3	5.9	RC橋	つる一丁目	R6	I		定期点検					定期点検				
119	無名9橋	梨木馬場支線3号	1994	3.1	4.2	RC橋	朝日馬場	R7	I		定期点検					定期点検				
120	岩崎橋	兵海戸線	1992	39.6	8.0	鋼橋	大幡	R5	II	定期点検					定期点検	補強設計 24,000	補強工事 43,000			耐震補強
121	新石運橋	サントウン玉川線	1991	58.3	5.5	鋼橋	下谷	R4	II				定期点検	補強設計 16,500	補強工事 67,000	補強工事 67,000			定期点検	耐震補強
122	上手2号橋	上手環状線	1975	4.0	4.0	鋼橋	与繩	R6	I		定期点検					定期点検				
123	石運橋	サントウン玉川線	1979	58.3	4.0	鋼橋	下谷	R4	II				定期点検			定期点検	耐震工事 45,000			耐震補強
124	高畑2号橋	高畑三ツ峠線	1970	4.0	3.5	RC橋	大幡	R6	I		定期点検					定期点検				
125	江戸川橋	大幡金井線	1958	5.9	5.8	RC橋	中津森	R7	II			定期点検						定期点検		
126	無名3橋	梨木馬場線	1985	6.0	4.0	RC橋	朝日馬場	R5	I	定期点検					定期点検					
127	江戸川橋歩道橋	大幡金井線	1958	9.2	1.5	鋼橋	中津森	R7	III		定期点検					定期点検				
128	丹保第2号橋	丹保古宮地線	1967	35.7	3.1	鋼橋	大幡	R3	III	補修設計 7,500	補修工事 22,000		定期点検					定期点検		耐震修復工
129	高畑3号橋	高畑三ツ峠線	1970	4.0	3.5	RC橋	大幡	R6	I		定期点検					定期点検				
130	大幡3号橋	丹保古宮地線	1975	7.6	3.5	PC橋	大幡	R4	II				定期点検						定期点検	
131	近ヶ坂2号橋	金井環状線支線2号	1976	6.4	5.0	鋼橋	金井	R4	I					定期点検					定期点検	
132	丹保第1号橋	丹保古宮地線支線1号線	1967	48.0	2.5	鋼橋	大幡	R3	II				定期点検						定期点検	
133	樋の口橋	馬場裏線	1991	11.1	4.8	PC橋	朝日馬場	R3	I			定期点検							定期点検	
134	新明2号橋	長者町地沢線	1970	2.3	4.7	PC橋	下谷四丁目	R6	I		定期点検					定期点検				
135	高畑3号橋2号	高畑三ツ峠線	1970	4.1	3.6	RC橋	大幡	R6	I		定期点検					定期点検				
136	丹沢川橋	大幡金井線	1958	5.5	6.9	RC橋	大幡	R7	II			定期点検							定期点検	
137	宮の蓋橋	大平線	1991	11.5	7.0	PC橋	朝日馬場	R3	II			定期点検							定期点検	
138	高畑1号橋	高畑三ツ峠線	1970	3.5	3.5	RC橋	大幡	R6	I		定期点検					定期点検				
139	樋の口2号橋	馬場中道線	1975	4.7	4.3	RC橋	朝日馬場	R6	I		定期点検					定期点検				
140	ヘビイフ橋	下大幡初狩線	1970	5.0	2.7	RC橋	大幡	R4	II				定期点検						定期点検	
141	近ヶ坂橋	金井環状線	1970	8.4	2.5	鋼橋	金井	R7	II			定期点検							定期点検	
142	南川二号橋	鶴線	1978	6.7	4.8	PC橋	大幡	R4	I				定期点検						定期点検	
143	瀬木橋	大平線支線1号	1965	6.4	3.0	PC橋	朝日曾越	R3	II				定期点検						定期点検	
144	和田橋	大平線支線2号	1985	16.6	3.1	鋼橋	朝日曾越	R3	II				定期点検						定期点検	
145	けいごや橋	高畑三ツ峠線	1969	30.0	3.1	PC橋	大幡	R3	II				定期点検	補修設計 8,000	補修工事 1,000			定期点検		耐震補強取組工
146	沢戸橋	沢戸数原線	1992	45.5	8.5	鋼橋	井倉	R5	I	定期点検					定期点検	補強設計 24,000	補強工事 68,000			耐震補強
147	羽根子大橋	新羽根子線	1991	85.4	8.0	鋼橋	下谷	R5	II	定期点検					定期点検	補強設計 14,000	補強工事 3,300			耐震補強
148	大幡2号橋	ハツ口馬塚線	1970	3.6	2.9	RC橋	大幡	R6	I		定期点検					定期点検				
149	小倉2号橋	小倉線	1970	3.5	3.3	RC橋	四日市場	R6	I		定期点検					定期点検				
150	無名10橋	赤坂駅裏線	1994	2.2	5.0	RC橋	四日市場	R7	I			定期点検							定期点検	

橋梁ごとの計画期間（今後10年間：令和5年度から令和14年度）における定期点検及び修繕等の予定

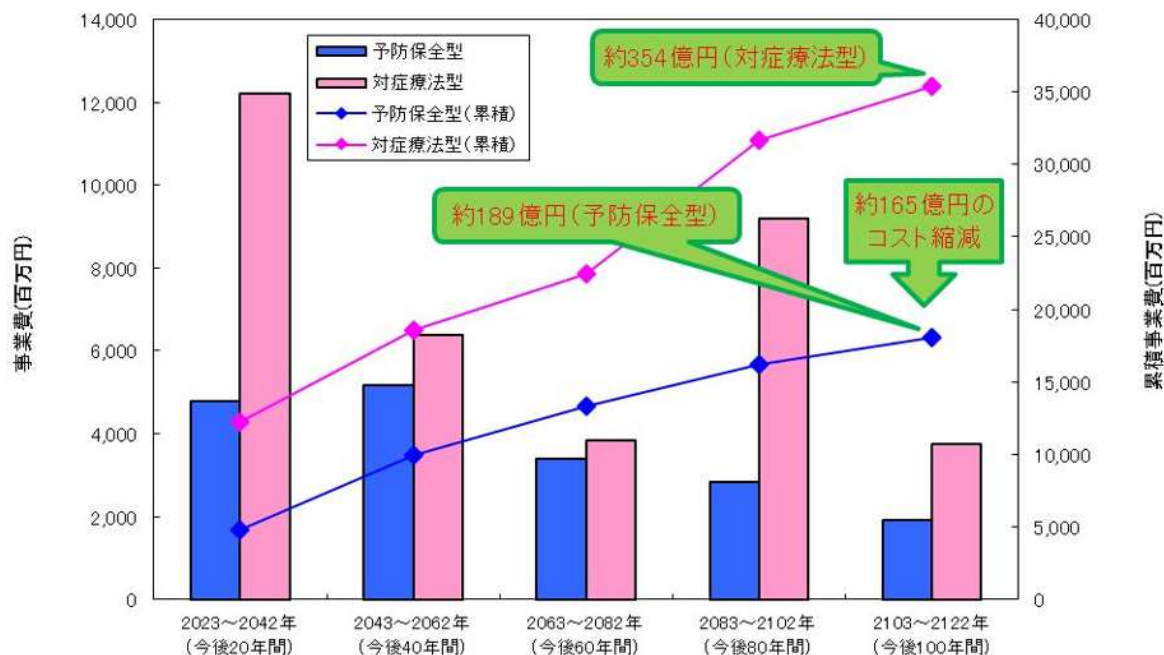
番号	橋梁名称	路線名	架設年度	橋長(m)	幅員(m)	橋梁形式	所在地	定期点検結果		R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	主な 補修内容
								年度	健全性の 診断区分	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)	(2027)	(2028)	(2029)	(2030)	(2031)	(2032)	
										26,780	153,400	388,200	17,000	14,000	231,200	787,200	628,300	26,800	14,000	
151	けいごや2号橋	高畑三ツ峠線	1970	3.6	4.0	RC橋	大幡	R6	I		定期点検					定期点検				
152	ヒノキダ橋	下大幡初狩線	1970	5.2	3.1	RC橋	大幡	R4	I				定期点検						定期点検	
153	剣橋	大野線	1987	39.8	4.0	鋼橋	大幡	R3	I			定期点検						定期点検		
154	小倉橋	小倉線	1970	2.1	3.0	C-BOX	四日市場	R6	I		定期点検					定期点検				
155	牛石橋	栄町長者町線支線3号	1984	56.0	7.0	鋼橋	厚原	R6	I		補強工事 60,000	補強工事 351,000				定期点検				耐震補強
156	剣橋2号	大野線	1970	4.1	4.0	RC橋	大幡	R6	I		定期点検					定期点検				
157	火見橋	赤坂駅線	1970	2.6	4.3	RC橋	四日市場	R6	I		定期点検					定期点検				
158	赤坂橋	栄町四日市場線	1970	2.4	6.8	RC橋	四日市場	R6	I		定期点検					定期点検				
159	横吹橋	横吹線	1993	80.8	6.5	鋼橋	下谷	R3	I			定期点検						定期点検		
160	四日市場側道橋	側道古川渡東桂線	1985	2.1	11.3	鋼橋	四日市場	R7	I			定期点検					定期点検			
161	柿沢橋	院辺羽根子線	1970	2.4	3.1	RC橋	下谷	R6	I		定期点検					定期点検				
162	生出橋	生出中学校線	1970	2.9	4.0	RC橋	四日市場	R6	I		定期点検					定期点検				
163	番屋橋	新羽根子線	1997	14.5	5.0	PC橋	下谷	R5	I		定期点検					定期点検				
164	舟井沢橋	大野線支線2号	1963	6.3	4.0	PC橋	大幡	R4	I				定期点検						定期点検	
165	舟井沢橋	舟井沢線	1985	6.3	6.0	PC橋	大幡	R5	II		定期点検					定期点検				
166	ヒノキダ2号橋	下大幡初狩線	1975	5.1	3.0	RC橋	大幡	R4	II				定期点検						定期点検	
167	ヒノキダ3号橋	下大幡初狩線	1970	5.1	3.2	RC橋	大幡	R7	I			定期点検						定期点検		
168	町並橋	町並西側平岩線	2023	3.5	6.5	RC橋	四日市場	R7	I			定期点検						定期点検		
169	ヨイチボリ橋	院辺羽根子線	1970	4.5	3.4	RC橋	下谷	R6	I		定期点検					定期点検				
170	赤羽根橋	大平線	1965	4.9	5.7	RC橋	朝日馬場	R3	I				定期点検					定期点検		
171	山神橋	高畑線	1969	10.3	2.2	PC橋	大幡	R4	I				定期点検						定期点検	
172	生出2号橋	四日市場キツネ森線	1970	2.3	1.3	RC橋	四日市場	R6	I		定期点検					定期点検				
173	無名7橋	側道南側古川渡線	1985	2.6	2.6	RC橋	四日市場	R7	I			定期点検						定期点検		
174	マガ久保沢橋	大平線支線3号	1993	7.0	8.9	PC橋	朝日曾越	R3	II				定期点検					定期点検		
175	黄皮沢橋	大平線	1960	6.0	5.1	RC橋	朝日曾越	R3	II				定期点検		補修設計 5,800	補修工事 7,100			定期点検	床面防水工
176	森の沢橋	大平線	1945	4.8	9.1	RC橋	朝日曾越	R3	I				定期点検						定期点検	
177	井倉環状1号橋	井倉環状線	1965	3.5	6.5	RC橋	井倉	R6	I		定期点検					定期点検				
178	川茂橋	古川渡田野倉線	2013	58.0	6.2	鋼橋	古川渡	R7	I			定期点検						定期点検		
179	古雷橋	川茂野ノ内線	1984	11.5	4.0	PC橋	小形山	R3	II				定期点検					定期点検		
180	古川渡橋	側道古川渡大原線	1994	17.5	8.8	鋼橋	古川渡	R5	I		定期点検					定期点検		補強設計 11,000	補強工事 11,000	耐震補強
181	無名1橋	九鬼環状線	1970	9.5	3.0	PC橋	井倉	R3	II				定期点検						定期点検	
182	禾生橋	側道古川渡大原線	1994	84.0	8.8	鋼橋	古川渡	R5	II		定期点検				定期点検		補強設計 22,000	補強工事 69,000		耐震補強
183	高川橋	川茂野ノ内線支線2号	1972	12.5	3.6	鋼橋	小形山	R3	III		補修設計 5,200	補修工事 10,000			定期点検				定期点検	支保修復工 (既設架け梁)
184	九鬼橋	九鬼環状線	1974	12.5	3.0	PC橋	井倉	R3	II				定期点検						定期点検	
185	富士見橋	九鬼線支線1号	1976	10.4	6.0	鋼橋	井倉	R5	II		定期点検				定期点検					
186	二ノ瀬橋	川茂野ノ内線	1985	10.4	4.6	PC橋	川茂	R3	II				定期点検						定期点検	
187	一ノ瀬橋	川茂野ノ内線	1985	10.4	4.1	PC橋	小形山	R3	I				定期点検						定期点検	
188	向田橋	川茂中谷線	1985	9.4	4.0	PC橋	小形山	R3	I				定期点検						定期点検	
189	向田2号橋	側道川茂小形山線	1985	8.2	4.0	RC橋	小形山	R3	II				定期点検						定期点検	
190	中谷橋	川茂野ノ内線	1970	3.2	7.2	RC橋	小形山	R6	I		定期点検					定期点検				
191	三口橋	松葉西線	1970	10.4	4.5	PC橋	小形山	R3	II				定期点検						定期点検	
192	中谷2号橋	川茂野ノ内線支線3号	1970	2.5	8.9	C-BOX	小形山	R6	I		定期点検					定期点検				
193	大原橋(歩道橋)	大原線	1973	58.1	2.8	鋼橋	田野倉	R7	I			定期点検						定期点検		
194	大原橋	大原線	1973	52.1	6.0	鋼橋	田野倉	R3	II				定期点検						定期点検	
195	松葉橋	古川渡田野倉線	1993	11.3	4.5	PC橋	小形山	R3	II				定期点検						定期点検	
196	礼金橋1号	礼金田代線	1974	8.5	4.0	鋼橋	田野倉	R5	II		定期点検				定期点検					
197	礼金橋2号	礼金田代線	1985	7.2	6.8	PC橋	田野倉	R5	II		定期点検				定期点検					
198	無名8橋	礼金田代線	1994	12.5	5.0	PC橋	田野倉	R5	I		定期点検				定期点検					
199	礼金橋3号	礼金田代線	1985	11.4	3.6	鋼橋	田野倉	R5	II		定期点検				定期点検					
200	五ヶ塚橋	瑞雲寺線	1975	5.5	4.0	RC橋	田野倉	R3	I				定期点検						定期点検	

橋梁ごとの計画期間（今後10年間：令和5年度から令和14年度）における定期点検及び修繕等の予定

番号	橋梁名称	路線名	架設年度	橋長(m)	幅員(m)	橋梁形式	所在地	定期点検結果		R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	主な 補修内容
								年度	健全性の 診断区分	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)	(2027)	(2028)	(2029)	(2030)	(2031)	(2032)	
										26,780	153,400	388,200	17,000	14,000	231,200	787,200	628,300	26,800	14,000	
201	十王堂橋	大原川久保線	1972	11.6	4.0	P C橋	小形山	R3	II				定期点検						定期点検	
202	瑞雲橋	瑞雲寺線	1960	3.6	1.7	R C橋	田野倉	R6	I		定期点検					定期点検				
203	舟場橋	古川渡田野倉線	1960	38.1	3.6	P C橋	小形山	R3	II				定期点検	補修設計 12,000	補修工事 7,000				定期点検	支那修復工
204	舟場橋（歩道橋）	古川渡田野倉線	1960	43.9	3.3	鋼橋	小形山	R7	I			定期点検							定期点検	
205	久保坂3号橋	五ヶ堰線	1970	4.3	7.4	R C橋	田野倉	R6	I		定期点検					定期点検				
206	御幸橋	古川渡田野倉線	1966	9.0	8.0	P C橋	田野倉	R3	I				定期点検						定期点検	
207	久保坂2号橋	五ヶ堰線	1970	3.5	19.4	R C橋	田野倉	R6	I		定期点検					定期点検				
208	大輪橋	堰の内昭和通り線	1978	75.0	6.5	鋼橋	小形山	R3	II				定期点検	補強設計 28,000	補強工事 90,000	補強工事 90,000			定期点検	耐震補強
209	花咲橋	側道川茂小形山線	1970	3.0	2.5	R C橋	小形山	R6	I			定期点検				定期点検				
210	久保坂橋	五ヶ堰線	1970	6.5	4.5	R C橋	田野倉	R3	I				定期点検						定期点検	
211	上の山橋	宿上の山線	1979	5.1	3.9	R C橋	田野倉	R3	I				定期点検						定期点検	
212	上の山2号橋	五ヶ堰線	1965	8.8	4.6	鋼橋	田野倉	R3	II				定期点検						定期点検	
										13,780	147,400	377,200	0	0	218,200	781,200	617,300	9,800	0	
橋梁点検費										13,000	6,000	11,000	17,000	14,000	13,000	6,000	11,000	17,000	14,000	
合計金額										26,780	153,400	388,200	17,000	14,000	231,200	787,200	628,300	26,800	14,000	

## 8. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する208橋について、今後100年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型では約354億円が必要となるのに対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型では約189億円になります。したがって、約165億円（約47%減）のコスト縮減効果が見込まれます。また、損傷に起因する通行制限等が未然に防止され、道路の安全性・信頼性が確保されます。



## 9. 計画策定担当部署

都留市 産業建設部 建設課  
〒402-8501 山梨県都留市上谷一丁目1番1号  
TEL 0554-43-1111 (代表)

## 10. 市民の皆様へのお願い

本計画を実現するためには、市民の皆様のご理解とご協力が必要です。今までも橋梁の損傷に関する通報（例えば路面が陥没している、防護柵が壊れている）などにより、その対応をしてきました。これがいわゆる「対症療法型」の対応になります。

これからは「予防保全型」の対応が必要となります。また、橋梁は市民共有の財産との認識をもっていただくと共に、市民の皆様と協働で橋梁の維持管理を進めていくために、今まで以上に橋梁の損傷、異常に関する情報提供や、可能な範囲での清掃などのご協力をお願いします。